

令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

公益目的事業1 平和教育・平和普及啓発事業

1. 講演会等の普及啓発

(1) 2020年度五井平和財団フォーラム

開催日 令和2年11月21日(土) オンライン配信

テーマ 「未来世代のために、どんな世界をつくるか」

視聴回数 日本語：7,774回 英語：1,522回

内 容 第1部

五井平和賞受賞スピーチ・トークセッション

平和賞受賞者 ジャック・アタリ／経済学者・思想家・作家

パネリスト 田坂広志／多摩大学大学院名誉教授

西園寺昌美会長

モデレーター 西園寺裕夫理事長

第2部

国際ユース作文コンテスト受賞作品発表

「2030年の私からの手紙」

(2) 「講演会シリーズ：21世紀の価値観」オンライン配信

① 第56回講演会

講 師 江守正多 国立環境研究所 地球環境研究センター副センター長
気候変動リスクと「卒炭素」への道

開催日 令和2年6月14日(日)

視聴回数：4,732回

② 第57回講演会

講 師 高橋徳 統合医療「クリニック徳」院長
愛と健康とオキシトシン

開催日 令和2年9月19日(日)

視聴回数：10,415回

③ 第58回講演会

講 師 加藤俊徳 脳内科医・医学博士、脳の学校代表

脳はいくつになっても成長する！ ー新しい脳科学的な能力観

開催日 令和3年3月20日(日)

視聴回数：2,198回(当日配信のみ)

(3) Living New ワークショップ

人が輝ける生き方を応援し、人と人、人と社会をつなげながら、新しい未来
をつくっていくプロジェクト

○あるがままの自分を知る・気づく・見つめる場の提供

○人の在り方、考え方、感じ方の多様性を共感、共有する場の提供

○自分の特性を社会に活かすサポート

オープンカフェ東京 令和2年8月23日(日) オンライン開催 20名

令和3年1月31日(日) オンライン開催 19名

LNコース・LNコース修了生の会は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み中止

(4) 賛助会員との交流及び活性化事業

①2020年度五井平和財団会員総会「報告と感謝の集い」

開催日 令和3年2月28日(日) オンライン配信

参加者 賛助会員限定 672名

内容 財団の今後の方向性、質疑応答など

②地方懇談会 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み開催中止

③ボランティア活動

ーコミュニケーター制度

ーコミュニケーター通信 Vol.37～Vol.39 発刊

ーピースフル・プロジェクト

月間テーマ

4月 積極的に挨拶をしよう／5月 植物を植えよう／6月 いただきます月間

7月 水を大切にしよう／8月 周りの人と平和について語り合おう

9月 生活を支えてくれている人たちに感謝を伝えよう／10月 カラダを思いやる

11月 世界の“いま”を知ろう／12月 お先にどうぞ月間／1月 笑顔で過ごそう

2月 モノを大切にしよう／3月 自分が喜ぶことをしよう

(5) 国際理解に資する交流事業

①国連・ユネスコとの交流事業

ユネスコ「教育の未来」プロジェクトに提言

これまでの作文コンテスト受賞者で、学生、外交官、世界銀行職員、人権活動家など16名の若手リーダーが10カ国から参加し、2050年の教育や学習のあり方について、ユネスコが示す3項目について討議し提言。

- 変わりゆく世界や未来のビジョンについて
- 教育全体の大きな目的とは何か
- 学ぶことの意味について

②国際機関・海外民間団体との交流事業

- モハメッド6世環境保護財団／モロッコ

環境教育、平和と持続可能な開発のための教育(ESD)に関する協働プロジェクト覚書を更新

- クラブ・オブ・ブダペスト

Source of Wonder <詳細は(6)で報告>

③ヨーロッパ拠点活動

ヨーロッパ代表(ミュンヘン)における財団事業の展開

国連、パリユネスコ本部等国際機関との窓口

- 20周年記念誌(英文)を各国際機関に送付
- 国際ユース作文コンテスト広報・選考
- 社会起業家育成プログラム運営<詳細は項目7で報告>

④ May Peace Prevail On Earth International* (姉妹団体) 日本オフィス活動協力

*2019年1月ワールド・ピース・プレーヤー・ソサエティから名称変更

ーピースパル国際アートコンテストと展示会(東京2020 参画プログラム)

テーマ: スポーツと平和

対象: 5歳～16歳まで

83カ国から5300点を超える応募が寄せられ、その中から選ばれた上位作品をウェブサイトで発表。各地での展示会は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み延期

- 第 28 回広島ピースセレモニー
8月6日(木) オンライン開催
MPPOE ニューヨーク・オフィス、SINE Network と共催
約 8000 名の参加者
吉川里香 MPPOE International 副理事長スピーチ
- 第 21 回長崎ピースセレモニー
8月9日(日) 長崎平和公園
約 30 名の参加者
吉川里香 MPPOE インターナショナル副理事長スピーチ代読
- Peace Prevails Program 普及支援
MPPOE インターナショナルが開発した小学生向けの平和教育教材
とその活用のための教員トレーニング・プログラムの普及支援
- 日本語ウェブサイトおよびメールマガジン等による情報発信
<http://www.worldpeace-jp.org/>
- 賛助会員平和普及自主活動

年月日	活動内容
2020.04.01	フィリピンのルソン島でピースポール建立 (ピースガーデンを作庭)
2020.04.28	京都の舞鶴公園にてピースポールを建立、桜の木も合わせて植樹。
2020.05.07	オーストラリア、メルボルン市のブロートン・ホールにてピースポール建立
2020.05.08	北海道旭川市、北見市でピースポールメンテナンス 10 本
2020.06.28	岡山市石山公園にて岡山空襲追悼のピースフェスティバルを開催。WPPC 実施。 参加約 200 名
2020.06.21	夏至の日のリレーWPPC にオンラインで全国から 85 名参加
2020.08.06	原爆の日に広島 WPPC オンライン開催 参加約 8000 名
2020.08.07	岡山県日詰山サムハラ神社にて第 5 回 WPPC インターネット中継 参加約 90 名
2020.08.09	原爆の日に長崎 WPPC 開催 参加約 30 名
2020.09.1~30	三重県伊勢市の百五銀行にて、ピースパルアートコンテスト展示会を開催
2020.09.12	コンゴ民主共和国キサングニ市のマペンダノ中学校でピースポール建立。 国営放送と民放が国際平和デーに放映。
2020.09.21	岡山県岡山市中心部の石山公園にてピースフェスティバル 2020in おかやまを開催。 ミニピースコンサートと WPPC を実施。県内外から参加 120 名。
2020.09.21	コンゴ民主共和国のゴマ市でピースポール建立 参加約 100 名
2020.09.21	ナイジェリアのウヨ市の司法本部にて国連 75 周年の記念式典。平和賞のトロフィーと して卓上ピースポールを 10 名に贈呈。参加約 200 名
2020.09.21	アメリカのシカゴピースデーにてフラッグセレモニー。オンライン開催
2020.09.22	秋分の日リレーWPPC に全国から参加 67 名
2020.10.1~14	伊勢市小木町の英語教室 伊勢 E ルーム校にてアートコンテスト作品展示
2020.10.24	広島県宮島の聖院にてピースコンサート&WPPC 参加 50 名
2020.11.22	NY オフィス主催のグローバル・ピースポールデーのオンラインイベントに日本から 50 名参加
2020.12.21	冬至の日リレーWPPC で全国から参加 94 名
2021.03.20	春分の日リレーWPPC に全国から参加 78 名

(6) 「富士宣言」推進 (パートナー組織および事務局として)

① ソウル・オブ・ウィメン

女性の会：国内にて運営方針に関する会合を開催

② Source of Wonder

富士宣言発足5周年記念「Source of Wonder」オンライン開催

10月17、18日(土日)、24日、25日(土日)

総視聴回数 26,730回

五井平和賞受賞者、富士宣言賛同者をはじめ、思想家、芸術家、教育者など、様々な国や分野から80人を超えるオピニオンリーダーがより良い未来の共創をテーマに、スピーチ、音楽、ダンス、瞑想など多様な表現方法でプレゼンテーションを配信。

ハイライト版オンライン配信

12月27日(日)

世界の若者へのホリデーシーズンのギフトとして、約2時間にまとめたハイライト版を配信。

Source of Wonder 日本語配信

ハイライト版に日本語字幕を付けウェブサイトで配信

(7) 各種情報媒体の活用

①機関誌「平和の創造」発行

季刊 各約5,000部作成と発送

活動報告、新しい方向性、イベント情報等を掲載

②MPPOE ニュース発行

季刊 各約5,000部作成と発送

ピースメーカーの活動報告、キャンペーン情報等を掲載

③設立20周年記念誌(英語版)

1000部発行

④インターネット・ソーシャルネットワークサービス(SNS)

<五井平和財団>

ウェブサイト、フェイスブック(日英) 定期更新

YouTube 公式チャンネル(日英)

Flickr(フリッカー: オンラインアルバムサービス)

メールマガジン(日英) 発刊

<ESD ユース>

ESD 日本ユース・コミュニティ/フェイスブック

ESD ユース参加者運営の SNS

「ESD 日本ユース情報局」フェイスブック/ツイッター

ESD ユース地区ごとの LINE グループ

<地球っ子広場>

フェイスブック 定期更新

<ユース・社会起業家コンペティション>

オンライン・コンペティション

オンライン・キャンパス

<富士宣言>

ウェブサイト/フェイスブック(日英西) 定期更新

メールマガジン/ツイッター(日英) 発刊

ソウル・オブ・ウィメン/フェイスブック(英)

<Source of Wonder>

ウェブサイト (英)

メールマガジン (英)

YouTube 公式チャンネル (英)

<Living New>

ブログ定期更新

<平和科学調査研究会>

ウェブサイト (会員制)

<MPPOE>

ウェブサイト/フェイスブック定期更新

メールマガジン/ツイッター発刊

⑤各種行事の動画配信

- ・「講演会シリーズ：21世紀の価値観」

江守正多講演会 気候変動リスクと「卒業素」への道

高橋徳講演会 愛と健康とオキシトシン

加藤俊徳講演会 脳はいくつになっても成長する！—新しい脳科学的な能力観

- ・2020年度五井平和財団フォーラム

「未来世代のために、どんな世界をつくるか」

- ・2020年度会員総会「報告と感謝の集い」

⑥各種行事のDVD制作

- ・2020年度会員総会「報告と感謝の集い」

- ・2020年度五井平和財団フォーラム

2. 顕彰

五井平和賞 ジャック・アタリ
経済学者・思想家・作家（フランス）

「ヨーロッパ最高の知性」と称される経済学者ジャック・アタリ氏は、フランスおよび欧州全体の政治・経済に影響を与える重要な役割を果たす一方、自ら NGO を設立し、貧困問題の解決と持続可能な開発に取り組んできました。

また、卓越した長期的視野と深い洞察から、グローバル化する世界に起こりうる危機を予測、警鐘を鳴らすと共に、現代を席卷する利己主義や貪欲から、他者への共感、寛容など、利他的価値観への転換と、あらゆる生命の幸せと次世代の利益に資する「ポジティブ経済」を推進してきました。

各国が利己主義を超えて連帯、協力し合う新たな世界秩序を提唱し、そのためには個人の意識の変容が必要であり、未来は明るい方向へ変えられるという確信と希望を人々に与え続けてきました。こうした社会変革への貢献に対し、五井平和賞を授与するものです。

■授賞スピーチ 令和2年11月21日（土）2020年度五井平和財団フォーラムで配信

■選考委員

委員長	佐藤 禎一	東京国立博物館名誉館長・元ユネスコ特命全権大使（当財団顧問）
	明石 康	国立京都国際会館理事長・元国連事務次長（当財団理事）
	有馬 朗人	日本科学技術振興財団顧問・物理学者・元文部大臣
	近衛 忠輝	日本赤十字社名誉社長
	西園寺昌美	五井平和財団会長
	田坂 広志	多摩大学大学院教授・シンクタンク・ソフィアバンク代表
	村上 和雄	筑波大学名誉教授・国際科学振興財団バイオ研究所所長（当財団理事）

*敬称略・50音順

3. 研究会等の調査研究

(1) 平和科学調査研究会

- ①全体会 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み中止
- ②運営委員会 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み中止
- ③分科会活動

- 幸せの価値観：情報収集、調査資料ジャンル別整理等
- 震災復興：震災から考える日本の未来と自然について調査
- 科学的事例調査：がん治療事例、宇宙太陽光発電等調査
- 平和へのシナリオ：平和へのプロセス研究・ディスカッション
- 自由研究：最先端物理学理解に向けた基礎理論の直観的把握

(2) 平和についての意識調査アンケート

対象：2020年度国際ユース作文コンテスト参加者

形式：任意の選択式

目的：子どもや若者の平和意識を調査し、平和の実現に向けて若者らが必要としていること等を分析、今後の青少年教育プログラム等に反映していく。

- ・自分にとって一番大切な平和とは何か
- ・昔に比べて平和になったと思うか
- ・良くなったと思う点は何か
- ・世界が平和になるために、解決しなければならない重要な課題は何か
- ・平和のためにやっていること、やってみたいことは何か など

4. 駐日外交官等国際交流プロジェクト

(1) 群馬県立女子大学連携講座「国際理解と平和～大使リレー講座」

通期火曜日 計 14 回開催

受講者数 毎回 15 名 (学生のみ)

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面型講座ではなく、過年度の講座動画を活用したオンライン講座として実施。

講師 (敬称略)	テーマ (カッコ内は動画収録日)
駐日サンマリノ共和国特命全権大使 マンリオ・カデロ	サンマリノ共和国と日本と (令和元年 5 月 21 日)
駐日トルコ共和国特命全権大使 ハサン・ムラット・メルジャン	グローバル化時代での平和構築に向けたトルコの 希望と取り組み (平成 30 年 7 月 10 日)
駐日ナミビア共和国特命全権大使 ソフィア=ナムパ・ナンコンベ	ナミビアについて (平成 30 年 7 月 24 日)
駐日コソボ共和国特命全権大使 レオン・マラゾーグ	コソボ：21 世紀欧州で国を建国するチャレンジ (平成 30 年 11 月 13 日)
駐日トルクメニスタン大使館員 ゴーヘル・ベルデイエフ	トルクメニスタン永世中立国 (令和元年 7 月 2 日)
駐日エジプトアラブ共和国特命全権大使 アイマン・アリ・カーメル	エジプトの現状と日本への期待 (令和元年 6 月 11 日)
駐日ポーランド共和国特命全権大使 ヤツェク・イズィドルチク	ポーランドと日本の外交関係樹立 100 周年 (令和元年 6 月 18 日)
駐日ペルー共和国特命全権大使 ハロルド・フォルサイト	ペルー・日本両国が直面する地球規模の課題 (令和元年 10 月 29 日)
駐日エクアドル共和国特命全権大使 ハイメ・バルベリス	エクアドル文化の多様性 (平成 30 年 6 月 19 日)
駐日オーストリア共和国特命全権大使 フーベルト・ハイッス	非核化に向けたオーストリアの外交・安全保障政 策について (平成 30 年 11 月 6 日)
駐日サモア独立国特命全権大使 ファアラバウ・ペリナ・ジャックリー ン・シラ・ツアラウレレイ	グローバル化する世界における平和と安全 (令和元年 12 月 3 日)
駐日ジブチ共和国特命全権大使 アホメド・アライタ・アリ	グローバル世界におけるジブチ文化の多様性 (平成 30 年 7 月 3 日)
元駐アラブ首長国連邦日本国特命全権大使 加茂 佳彦	UAE から見たこと (平成 30 年 10 月 16 日)
日本国政府代表 河野 雅治	『東京 2020』～平和の理想と現実～ (令和元年 12 月 10 日)

(2) 駐日外交官による交流プロジェクト

実施日	実施校・参加人数	教育課程における位置付け	講師（敬称略）
令和2年 10月24日	中央大学附属高等学校 11名	選択科目	駐日カザフスタン共和国大使館 公使参事官 ヌルサリムウル・エルガルム
令和3年 3月17日	東京都品川区立豊葉の杜学園 約90名	市民科	駐日ジャマイカ大使館 一等書記官／領事 シェルドン S. ポー

5. 2020年度 国際ユース作文コンテスト

持続可能な開発のための教育（ESD）を推進する事業として開催

主催 公益財団法人五井平和財団

後援 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、NHK、日本経済新聞社、
日本私立中学高等学校連合会、東京都教育委員会

協賛 セイコーホールディングス株式会社、プラス株式会社

テーマ 『2030年の私からの手紙』

応募数 世界166カ国から過去最多となる33,632点
(子どもの部9,578点、若者の部24,054点)

作品発表 令和2年11月21日(土)五井平和財団フォーラムにて発表

文部科学大臣賞 (各1点)

<子どもの部>君の未来は今日から始まる

コジ・セナナヤカ (12歳/スリランカ・コロンボ県

S. トーマス・カレッジ・マウント・ラビニア校)

<若者の部>希望のブーメラン

マルタ・チェルニチュカ (18歳/ウクライナ・キエフ市

キエフ国立大学タラス・シェフチェンコ国際関係研究所)

優秀賞 各2点

入選 各5点

佳作 各25点

学校特別賞 2校

学校奨励賞 59校

- 選考委員 委員長 千玄室 (茶道裏千家前家元、ユネスコ親善大使、当財団理事)
西園寺昌美 (五井平和財団会長)
都倉俊一 (作曲家、日本音楽著作権協会特別顧問)
成田純治 (株式会社博報堂相談役、当財団理事)
服部真二 (セイコーホールディングス株式会社代表取締役会長
兼グループCEO 兼グループCCO)
松浦晃一郎 (アフリカ協会会長、元ユネスコ事務局長、当財団評議
美内すずえ (漫画家)
矢崎和彦 (株式会社フェリシモ代表取締役社長)
葉祥明 (絵本作家)

①作文コンテスト受賞者オンラインの集い

日時: 12月19日(土)

参加者: 上位入賞者9カ国13名(内日本人4名)が参加

内容: グループに分かれて各設問についてディスカッション

- ・ 作文を書いたことでどのような変化や気づきがあったか
- ・ お互いの作文を読んで印象に残った言葉や学んだことは

②公立小学校との国際交流

日 時：令和2年12月5日（土）、令和3年1月23日（土）
参加者：受賞者3名と大阪府泉南市立鳴滝小学校児童20名
内 容：土曜英語教室の一環で国際交流学習

6. 地球っ子広場

(1) 地球っ子広場各地区展開 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み休止

- 活動趣旨 子どもたちが放課後や休日に、広く社会と触れ合える居場所を創設し、保護者、地域の人々が集う、良き地域コミュニティを目指し、生命・平和・環境等を大人と子どもが共に学ぶ広場を運営
- 後 援 ユネスコ国内委員会
- 認定事業 ユネスコ本部より「ESDの10年の公式活動」認定を受ける

(2) 地球っ子e広場

①国際平和デー記念プログラム「ピースフラッグをデザインしよう！」

日 時：9月20日（日）
参加者：バングラデシュ、ネパールの子どもを含む10名
内 容：国旗の色やデザインの持つ意味をクイズで学び、平和のイメージについて話し合った後に、それぞれの平和のイメージを自由な形や色で表現しピースフラッグを制作。

②時空を超えて～ヒロシマ、平和をまなびあう旅～

日 時：11月3日（火・祝）
参加者：子供9名、大人3名
協 力：NPO 法人 Peace Culture Village
内 容：AR（拡張現実）を使った映像で1945年の原爆投下前の原爆ドーム周辺をバーチャルツアー体験
平和が実現した未来の出来事を「地球未来新聞」で表現

③クリスマス・ワークショップ

日 時：12月13日（日）
参加者：子供9名
内 容：自分の長所探しの後、自分の名前前の文字からポジティブな言葉を探して、詩をつくり自分への贈り物にする。“あ”なら愛する、明るい、“か”なら輝く、かわいいなど

④子どもたちの生きる力を養うプログラミング教室

日 時：2020年8月12日（水）12名参加
9月27日（日）体験／3名参加、応用編／8名参加
2021年2月14日（日）体験／4名
2月21日（日）体験／4名、応用編／7名
3月6日（土） 応用編／4名
内 容：手のひらサイズのロボットを動かす多様なプログラミングで多様性への肯定感を育む

(3) 五井教室ボランティアが小学校で平和教育プログラム

日 時：12月3日（木）
実施校：千葉市立白井小学校
参加者：6年生38名
内 容：手作りの大きな木のタペストリーから葉を取り、葉裏の言葉から連想した相手の長所を発表し合う

(4) 地球っ子広場コーディネーター対話会

日 時：3月27日(土)

参加者：9名

内 容：オンラインプログラムの報告、オンライン・実開催のメリットの洗い出し
令和3年度の開催方法の検討など

7. 社会起業家育成プログラム

本年度から、対象を若者を含むあらゆる世代に広げ、より多くの人々が社会変革への参画を目指せるよう、名称をユース・シチズン・アントレプレナーシップ・コンペティションからシチズン・アントレプレナーシップ・コンペティションに変更して実施

内 容：国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に資するアイデアやプロジェクトを募り、若者の社会起業を奨励・育成するオンライン・キャンパスおよびオンライン・コンペティション

主 催：五井平和財団、スティブタング・アントレプレナーシップ財団、デジタル・エキスパート・ユナイテッド

後 援：Commonwealth Youth Council、Young Americas Business Trust (YABT)、African Women Power Network、World Assembly of Youth (WAY)、Earth Charter ほか

対 象：ユース部門／13歳から29歳まで
アダルト部門／30歳以上

期 間：3月～8月31日

コンペティション応募総数：79カ国からベスト・アイデア部門 932件
ベスト・プロジェクト部門 225件

選考方法：ウェブサイト上で最多得票を集めたエントリーにピープルズ・チョイス賞を授与

得票数により、各部門上位10位までのファイナリストの中から選考委員が最優秀賞、2位、3位を選考

選考委員：ギンター・ファルティン（ベルリン自由大学教授）

西園寺裕夫（五井平和財団理事長）

クリスティーナ・ラカヨ（Earth Charter コーディネーター）

エディオラ・パシヨラリ（World Assembly of Youth 事務局長）

ジュリ・サイトウ（UNESCO ESD Section）

ラヴィ・チョウドリー（シーネクスト・コンサルティング&インベストメント会長）他

授 賞 式：12月10日オンライン開催

<ユース部門>

■ベスト・アイデア

1位 エスカワイプ／ニュー・レボリューション

(廈門大学マレーシア校大学生チーム／マレーシア)

トイレットペーパーの原料として、日々伐採される2万7000本もの樹木の繊維に代わり、大量の二酸化炭素を排出して処理されているサトウキビやバナナなどの農業廃棄物や生活ゴミから出る繊維を活用するアイデア。

温暖化防止のほか、森林破壊により絶滅の危機に瀕するオランウータンの保護にも貢献。生態系に配慮した革新的な循環経済構想と評価された。

SDGs 目標 12：つくる責任、つかう責任

SDGs 目標 15：陸の豊かさを守ろう

■ベスト・プロジェクト

1位 ショックレット／シャゼブ・カーン（男性／インド）

女性の安全を守るブレスレット。危害を加えようとする者に、ブレスレットが電気ショックを与え、同時に近隣3カ所の警察署へも通報する。女性への暴力の問題にスタイリッシュな装飾品で対峙する優れた取り組みと評価された。

SDGs 目標 5：ジェンダー平等を実現しよう

1位 チロタ・バリ／コマン・スカルマ（男性／インドネシア）

バリ島の天然資源パルミラヤシを活用して土産物やバスケットのほか、美しい工芸品を製造し、低所得層に安定した収入を提供しているプロジェクト。土地特有の伝統の復活と、コミュニティを巻き込み、力を与える取り組みとして高い評価が集まった。

SDGs 目標 1：貧困をなくそう

<アダルト部門>

■ベスト・アイデア

1位 ザ・ソーシャリスト／アーノルド・ラプス（32歳／男性／フィリピン）

社会起業家が持続可能な方法で製造、調達した製品やサービスを提供するプラットフォームをインターネット上に構築し、社会起業家の支援と責任ある消費を促進するアイデア。

社会起業に対する認知を高め、消費者の意識の喚起も同時にできると評価。

SDGs 目標 12：つくる責任、つかう責任

SDGs 目標 17：パートナーシップで目標を達成しよう

■ベスト・プロジェクト

1位 アフリカ・ティザー映画祭／シャーリーン・ワンガリ（33歳／女性／ケニヤ）

映画制作を志す応募者からの脚本を選考委員が選び、人々の関心をひく1分間の映画（ティザー）としてオンライン上で放映。投票で見たい映画として選ばれた脚本に本編を制作する費用が提供される。雇用の創出やアフリカ映画界の発展に貢献。

創造的、文化的な分野に誰もがアイデアや構想を持ち込める機会が与えられ、実際に支援もされる素晴らしいプロジェクトと評価。

SDGs 目標 8：働きがいも経済成長も

8. ユネスコ活動・ESD（持続可能な開発のための教育）SDGs？

（1）ユネスコ活動・ESD 関連事業

1. ユース・コミュニティ発展のためのオンラインイベント開催

① ESD 日本ユース・コミュニティ・ミーティング

日 程：令和2年5月31日（日）

参加者：第1回～6回 ESD 日本ユース・コンファレンス参加者
ならびにメンター約70名

目 的：オンラインツールやファシリテーションのポイント等を学びつつ、第6回コンファレンスプロジェクト進捗共有や、テーマ別座談会、互いの活動紹介等のプログラムを通して、交流を深める。

（平成31（2019）年度日本／ユネスコパートナーシップ事業で令和2年2月に開催した「第6回 ESD 日本ユース・コンファレンス」のフォローアップ会合として開催）

- ② ESD 日本ユース・未来を描く会
 日 程：令和 2 年 6～7 月（3 回実施）
 参加者：第 1 回～6 回コンファレンス参加者 約 25 名
 目 的：今後のユース・コミュニティのあり方や、行いたい活動
 について、自由に話し合う。
- ③ ESD 日本ユース・エリア交流会
 日 程：令和 2 年 8～9 月（8 回実施）
 参加者：第 1 回～6 回コンファレンス参加者 約 35 名
 目 的：未来を描く会の中で出された、地域の仲間と出会い・
 つながる機会を提供
2. ユース同士の学び合いの機会の提供（オンライン）
- ① ESD ユース・マルシェ（自主勉強会）
 日 程：令和 3 年 1 月、2 月、3 月（3 回実施）
 参加者：第 1 回～6 回コンファレンス参加者 約 40 名
 目 的：「幼児教育での ESD」、「SDGs の授業づくり」、「社
 会教育施設と学校との連携」など、ESD や SDGs に関す
 るテーマを決め、毎回ユースが話題提供を行い、議論を
 通して学びを深める。
3. ユース同士の連携や活動への支援（オンライン）
- ① 公立中学校の平和学習での連携
 日 程：令和 2 年 7 月（1 回実施）
 参加者：四日市市立橋北中学校生徒 約 25 名
 目 的：同校修学旅行生の広島修学旅行の事前学習を、AICJ 中
 学
 校(広島)の教員が担当。
- ② 公立小学校の国際交流活動（作文コンテストと重複）
 日 程：令和 2 年 12 月、令和 3 年 1 月（2 回実施）
 参加者：泉南市立鳴滝小学校児童 約 20 名
 目 的：土曜英語教室の一貫で、フィリピン・スリランカ・シン
 ガポールの 2020 年度国際ユース作文コンテスト受賞者
 たちと国際交流学習。
- ③ SDGs チャレンジ合同発表会
 日 程：令和 3 年 2 月（1 回実施）
 参加者：晃華学園中学校高等学校、麗澤中学・高等学校、東京
 立正中学校・高等学校の生徒、ESD 日本ユースメンバー 約 20 名
 目 的：3 校の生徒が SDGs に関する校内活動の成果を発表し、
 相互交流。ESD 日本ユースメンバーがメンターとしてア
 ドバイスを行う。（第 6 回 ESD 日本ユース・コンファ
 レンスで生まれたプロジェクトの一つとして実施）
4. 持続可能な開発のための教育（ESD）円卓会議
 日 程：（第 1 回）令和 2 年 12 月、（第 2 回）令和 3 年 2 月
 内 容：文部科学省／環境省主催の ESD 円卓会議の委員として、
 次期 ESD 国内実施計画の策定に関する討議に参加
5. ユネスコスクール支援
 千葉県立市川昂高等学校「開かれた学校づくり委員会」に委員とし
 て参加等
6. ESD 岡山アワード
 ESD 岡山アワードを運営委員会のメンバーとして参加

(2) SDGs (持続可能な開発目標) 推進事業

1. ユースの活躍の場の提供

① ローカル SDGs ユース・ダイアログ開催

環境省「令和2年度ローカル SDGs ユースセミナー業務」として実施

日 程：Day1 令和3年3月7日(土) オンライン

Day2 3月13日(土) 岡山市、3月14日(日) 大津市

Day3 3月21日(日) オンライン

参加者：24名

目 的：地域における課題解決や新たな価値の創造を通して、持続可能な社会づくりに貢献できるリーダー育成のため、3週末連続のセミナーを開催。

主 催：環境省

運営事務局：公益財団法人五井平和財団

後 援：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、ESD活動支援センター、滋賀県、滋賀県教育委員会、岡山市、岡山ESD推進協議会、近畿ESDコンソーシアム、滋賀SDGs×イノベーションハブ

協 力：NPO法人場とつながりラボ home's vi、こども国連環境会議推進協会、SDGsネットワークおかやま若者部会

会 場：対面会場(岡山市、大津市)とオンラインを併用

8. 青少年育成に係る若手指導者養成奨学金事業

令和2年度は該当者なし

選考委員(委員長)	成田 純治	株式会社博報堂取締役相談役(当財団理事)
	魚谷 雅彦	株式会社資生堂代表取締役社長兼 CEO
	大塚 久利	大塚刷毛製造株式会社前代表取締役会長
	西園寺裕夫	公益財団法人五井平和財団理事長
	竹田 恆和	日本オリンピック委員会前会長
	都倉 俊一	作曲家、一般社団法人日本音楽著作権協会特別顧問
	服部 真二	セイコーホールディングス株式会社代表取締役会長兼グループ CEO

附属明細書

令和 2 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 3 年 4 月

公益財団法人 五井平和財団